

(1)保健体育科における昨年度の改善プランの検証

観点	検証
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・継続した指導、呼びかけによりチャイム始業や準備、片付けに意欲的な生徒が増えた。 ・個々の運動能力に適した課題設定の難しさを感じた。また、運動能力向上には理解力が影響している。 ・運動の苦手な生徒へのアドバイスや個別の目標を明確にすることで意欲が高まった。
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・小グループやペア活動によって、教え合う姿が見られた。考えて活動する生徒が増えてきた。 ・安全面やケガに対して少しずつ意識できる生徒が増えてきた。 ・集団での行動を通して、安全についての意識が高まってきている。
運動の技能	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の運動能力の向上が見られた。 ・持久力を高める運動、柔軟性を高める運動に取り組む必要がある。 ・運動技能の向上の為、体幹トレーニング・ストレッチ体操の必要性を理解させる。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードの活用がなされた。 ・体育理論と保健の内容の理解、体育実技授業との結びつきを考えさせたい。

(2)保健体育科の具体的授業改善策

観点	具体的な授業改善策
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・始業への意識を高める。自主的に取り組むことができる態度を身につけさせる。 ・個に適した課題設定をし達成感を得る内容を工夫する。 ・準備や片付け、準備体操や補強運動に積極的に取り組む姿勢を育てる。
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・集団行動や小グループ、ペアでの活動によって、仲間意識を深める。 ・日常生活においても自己の健康を管理し、ルールを守る姿勢を育成する。 ・安全への意識を高める指導を行う。
運動の技能	<ul style="list-style-type: none"> ・現状を把握し、基礎体力(総合的な体力)の向上を図りながら、成長段階に応じた指導を行う。 ・持久力、柔軟性を向上させる。 ・専門家による体幹トレーニング、ストレッチ体操の指導を全クラス2回実施する。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードを効果的に使う。 ・保健や体育理論との連携を図り、運動に知識を伴わせる。

学年	具体的な授業改善策
1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・始業のチャイムより前に集合を完了し、意識を集中して準備体操に取り組む。 ・自分の体力・運動能力の現状を把握させる。
2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的に運動に取り組む姿勢を育てる。 ・各種目の特性を理解し、自ら課題を見つけ、それを解決していく指導を行う。
3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な集団やグループでの活動を通して、運動の楽しさを味わう。 ・技能の向上を自覚できる練習の工夫。